Wi-Fi QRコードをスキャンしてパスワードを見せずに安全に接続する方法

Wi-Fi QRコードを使えば、パスワードを見せることなくゲストをネットワークに参加させられます。仕組みの解説から生成・スキャン方法、安全な使い方まで紹介します。

著者: Lubor Šimůnek • 公開日: August 31, 2026 • 生産性

オンライン版: https://appstoryo.com/ja/blog/scan-wifi-qr-code-safely



Wi-Fi QRコードに含まれる情報

Wi-Fi QRコードには、ネットワーク名（SSID）、パスワード、暗号化方式（通常はWPA2またはWPA3）が `WIFI:T:WPA;S:ネットワーク名;P:パスワード;;` という形式でエンコードされています。ゲストはコードをスキャンするだけで即座に接続でき、パスワードを口頭で伝えたり手入力したりする必要がありません。

Wi-Fi QRコードの生成方法

Android の場合: 設定 → Wi-Fi → 接続中のネットワークをタップ →「共有」または「QRコード」を選択。**iOS 16+** の場合: Wi-Fi設定から保存済みネットワークをQRとして共有できます。最新のルーターの多くも管理パネルでQRエクスポート機能を備えており、冷蔵庫やドアに貼るコードを印刷するのに便利です。

スキャンの手順

iOSおよびAndroidの標準カメラアプリはWi-Fiフォーマットを自動検出し、ネットワーク参加を促すバナーを表示します。専用QRアプリを使うと、SSID・パスワード・暗号化方式を接続前に確認できるというひと手間が加わります。

専用アプリが役立つ理由

自宅の冷蔵庫に貼ったQRコードは信頼できます。しかしカフェ、ホテル、コワーキングスペースでは話が違います。攻撃者が正規のQRの上に偽のQRシールを貼り、悪意のあるネットワークへ誘導する「イービルツイン攻撃」が存在します。接続前にデコードされた詳細を表示するアプリがあれば、SSIDが施設名と一致するか、暗号化がWPA2またはWPA3か（オープンネットワークではないか）を確認できます。

主な利用シーン

自宅のゲストネットワーク：QRを印刷してドアや冷蔵庫に貼っておく。来客はゲストネットワークに接続でき、メインネットワークには触れません。ホテルの客室：接続前にSSIDを確認。コワーキング・イベント：告知されたネットワーク名と一致するか確認——イベントのWi-Fiは攻撃の標的になりやすいです。

QR Code Reader Without Ads

QR Code Reader Without AdsはiOSとAndroid向けの無料スキャナーで、接続を提案する前にSSID・パスワード・暗号化方式を表示します。広告なし、ローカル履歴機能あり。App Store（id6757708053）とGoogle Play（com.lapnito.qr_reader）で入手できます。

安全確認チェックリスト

- SSIDが施設名と完全に一致するか確認する。
- 暗号化がWPA2またはWPA3であること（オープンネットワークでないこと）を確認する。
- 印刷されたQRコードの上に貼られたシールには注意する。
- 不審な場合はスタッフにネットワーク名を直接確認する。

QR Code Reader Without AdsはiOS版・Android版とも無料でダウンロードできます。広告なし、トラッキングなし、完全オフラインで動作します。

引用形式: Lubor Šimůnek (2026). *Wi-Fi QRコードをスキャンしてパスワードを見せずに安全に接続する方法*. AppStoryo, lapnito.cz s.r.o.. https://appstoryo.com/ja/blog/scan-wifi-qr-code-safely
© 2026 lapnito.cz s.r.o.